

## 自動運転実証実験事業の取り組みについて

### 1. 概要及び経緯

近年、人口減少や運転手不足、高齢者の運転免許証返納を背景に、地域における移動手段が課題となっている中、本年1月に「自動運転に係る県と市町村との勉強会」が開催され、2月には「東濃地域自動運転特区推進プロジェクトチーム（岐阜県、多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市及び下呂市）」が立ち上がり、自動運転社会実装事業に向けた取組を実施していくことになった。

政府は、地域限定型の無人自動運転移動サービスを2025年度目途に50か所程度、2027年度までに100か所以上で実現していくことを閣議決定し、意欲ある地域の取組に積極的に支援するとしていることから、県は、令和6年5月に国に対し事業申請を行い、6月6日に採択された。

今後は、県及び下呂市を含む東濃各市と足並みをそろえ、地域移動の課題解決に向け、本事業に積極的に取り組む。

### 2. 令和6年度の取組

#### (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）

- ・申請団体：代表者 - 岐阜県  
共同申請者 - 多治見市、瑞浪市、恵那市、土岐市及び下呂市
- ・令和6年6月6日 採択済み
- ・事業内容：  
先行事例の収集整理、自動運転実装に向けた課題の検討、リスクアセスメント実施/検証、利用者・住民アンケート、自動運転実装に向けた体制構築、ロードマップの作成、検討結果の取りまとめ、報告書の作成、対象ルートの設定

#### (2) 東濃地域自動運転導入推進委員会の開催

- 組織構成：国、県、市、警察、道路管理者 等
- 開催日：令和6年7月29日

#### (3) 今後の取組内容

令和7年度以降市において自動運転実証実験実施のための計画策定

- ・地域委員会恵那市分科会の開催（7月29日以降に開催予定）
- ・実証実験候補ルートの選定及びルートの決定
- ・運行事業計画の立案（運行予定年、車両の選定、運行体制の構築等）
- ・運行ルートの危険個所の確認
- ・地域住民への説明 等